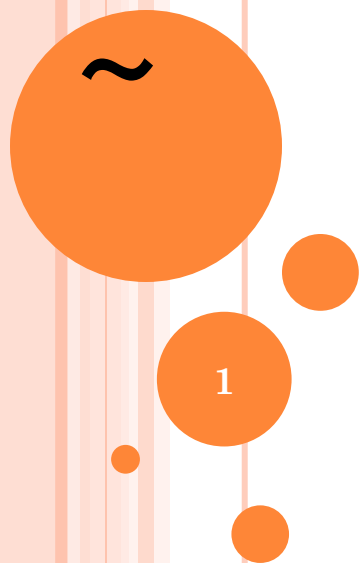


本校の進路指導について

～中学部段階の進路指導について



進路指導部 堤 真弓

内 容

- 高等部卒業後の進路状況
- 中学部段階における進路指導
- 進路先を決めるにあたって
- 家庭で行ってほしいこと
- 主な進路関係の行事について

高等部卒業後の進路状況

R6年度卒業生進路状況

企業	就労継続支援 A型	就労移行支援	就労継続支援 B型	生活介護 (療養介護)	その他
11	5	0	13	10	1

●R6年度の卒業生の主な業種

業種・・・製造業(1)、小売業(2)、福祉(2)
サービス業(他に分類されないもの)(6)
※材料の補助、職場の清掃業務

進路先一覧(企業)

事業所名	業種	仕事内容
つばさ佐久山事業所	福祉	補助業務
富士電機フロンティア	製造業	組立・製造
富士通ハーモニー 那須オフィス	サービス業(他に分類されないもの)	清掃・組立
国際医療福祉大学 大田原キャンパス	サービス業(他に分類されないもの)	清掃
ヤマト運輸 黒磯北営業所	サービス業(他に分類されないもの)	受付、集配、清掃
シャングブル黒磯店	小売業	品出し、清掃

進路先一覧(企業)

事業所名	業種	仕事内容
シャンプル大田原店	小売業	品出し、清掃
国際医療福祉大学病院 (井口)	サービス業(他に分類されないもの)	清掃
特別養護老人ホーム にちにちそう	福祉	介護補助
ホテルサンバレー那須	サービス業(他に分類されないもの)	清掃
資生堂 那須工場	サービス業(他に分類されないもの)	清掃

進路先一覧(A型事業所)

事業所名	業種	仕事内容
GOODNEWS PARTNERS	製造業	菓子
ぽては	製造業	食品加工

進路先一覧(B型事業所)

施設名	活動内容
ぱらねっと	味噌作り、リサイクル作業、外注作業
ミライズ大田原	外注作業(ペットフード関係)
希望の杜さんわ	ハンガーの組立
さらさ	パン製造
SOLTURO	箱折り、施設外作業(物流での仕分け)
エルムの園	外注作業(組立て、等)
SELPみなと	クッキーの製造、販売等
テトテ野崎事業所	きのこ栽培、販売
テトテ那須野が原事業所	クッキー製造、販売

進路先一覧(B型事業所)

施設名	活動内容
メアリーワークス	ハンガー組立、箱折り
希望の杜 さんわ	ハンガー組立
あいる	清掃作業 等
あゆも	外注作業(唐辛子の選別、等)

進路先一覧(生活介護)

施設名	活動内容
心の里	紙すき、創作活動、体力作り
ぱらねっと	創作活動、体力作り
旭屋	創作活動、体力作り
smail	リサイクル活動、体力作り
マ・メゾン光星	創作活動、体力作り
夏の楓	創作活動、体力作り
デイジー	創作活動、
サポートハウス那須	創作活動

創作活動の中で、軽作業を行う施設も多くあります。

高等部卒業後の進路状況

※ほとんどの事業所で「軽作業」を行っています。事業所ごとに内容は様々です。見学をして確認をしてください。

※B型、A型は、食品を取り扱うところが多いです。

そのため、

「髪を束ねるで帽子にかぶることができる」

「適切な長さに爪を整え,ゴム手袋等を身に付けられる」

「お互いの様子を見たり、言葉を掛け合ったりして作業できる」
ことが望めます。

中学部段階に おける進路指導

職業準備性ピラミッド

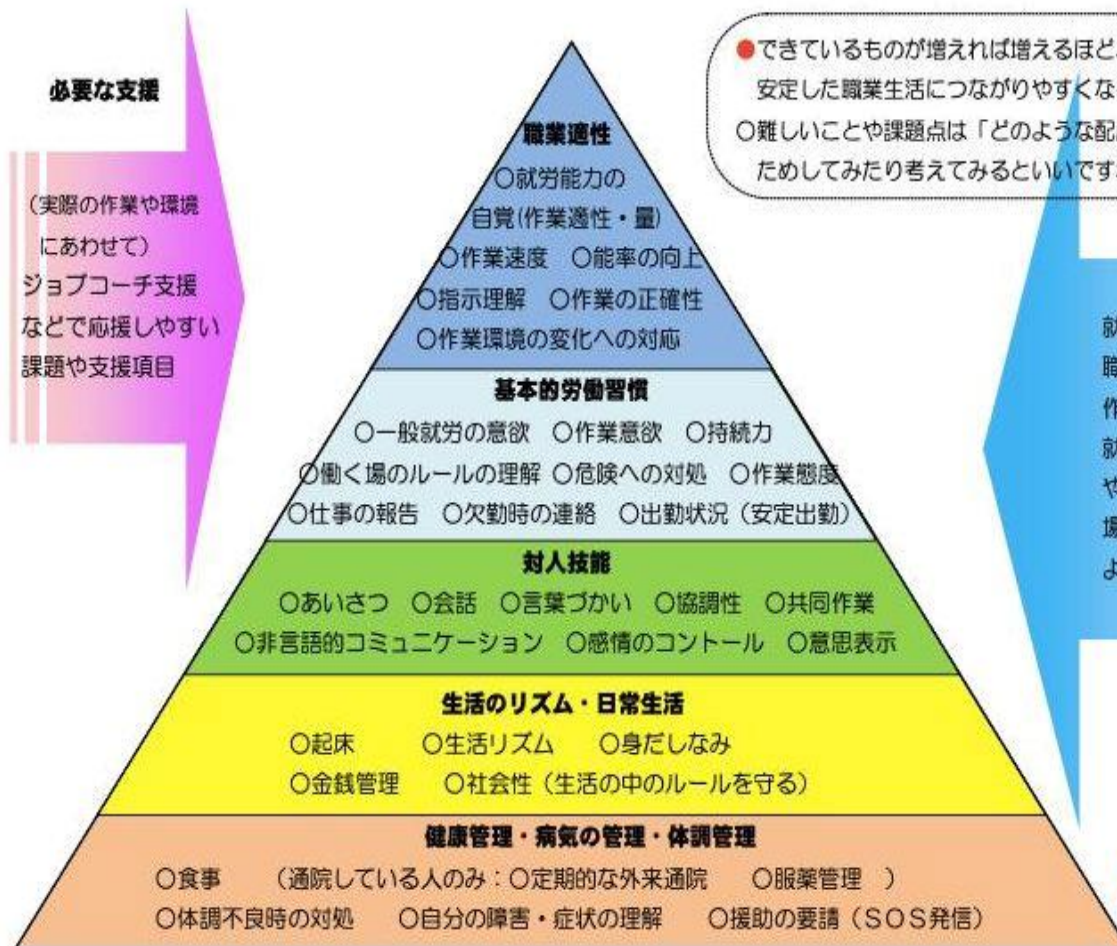
「安定した職業生活のための職業準備性」にはさまざまな側面（段階）があります。

「就労移行支援のためのチェックリスト」を活用して、あなたの「職業準備性」のどの側面（段階）がどのような状態かをまず、把握してみましょう。

できているもの（チェックリストの1か2に○がついたもの）は○に色を塗りましょう。

必要な支援

（実際の作業や環境にあわせて）
ジョブコーチ支援
などで応援しやすい
課題や支援項目



●できているものが増えれば増えるほど、働く土台がしっかりしてくるので安定した職業生活につながりやすくなると思われます。
○難しいことや課題点は「どのような配慮や支援があるとよいか？」をためしてみたり考えてみるといいですね。

就労移行支援事業所
職業訓練
作業所など…
就職に向けた土台づくり
や経験づくりができる
場面で取り組むと
よいこと

働く土台づくり

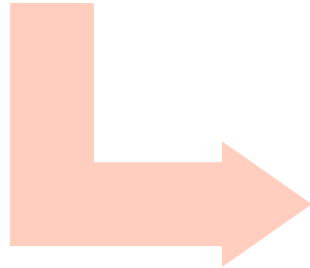
就労移行支援事業所
ワンズネクスト
ホームページ
<https://www.wands-co.jp>

医療と相談や調整が必要
デイケアへの参加など

中学部段階における進路指導

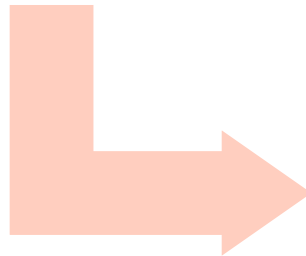
小学部

身辺自立と
人間関係の基盤形成



中学部

社会生活能力と
自己表現力の育成



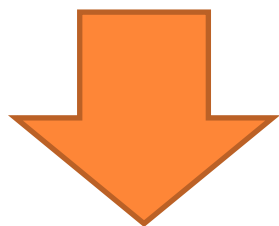
高等部につながる
大切な時期

高等部

社会生活能力の確立と
自己選択・自己決定力
の育成

中学部段階における進路指導

- ① 必要に応じた挨拶や返事ができるようにする
- ② 時間を意識して行動する
- ③ 自分の進路に対する意識をもつ
- ④ 作業学習や校内実習を通して働く力を養う



小学部で身に付けてきた力を深める

進路先を決めるにあたって

進路先について

- 本校からの進路先は2つに分かれます。

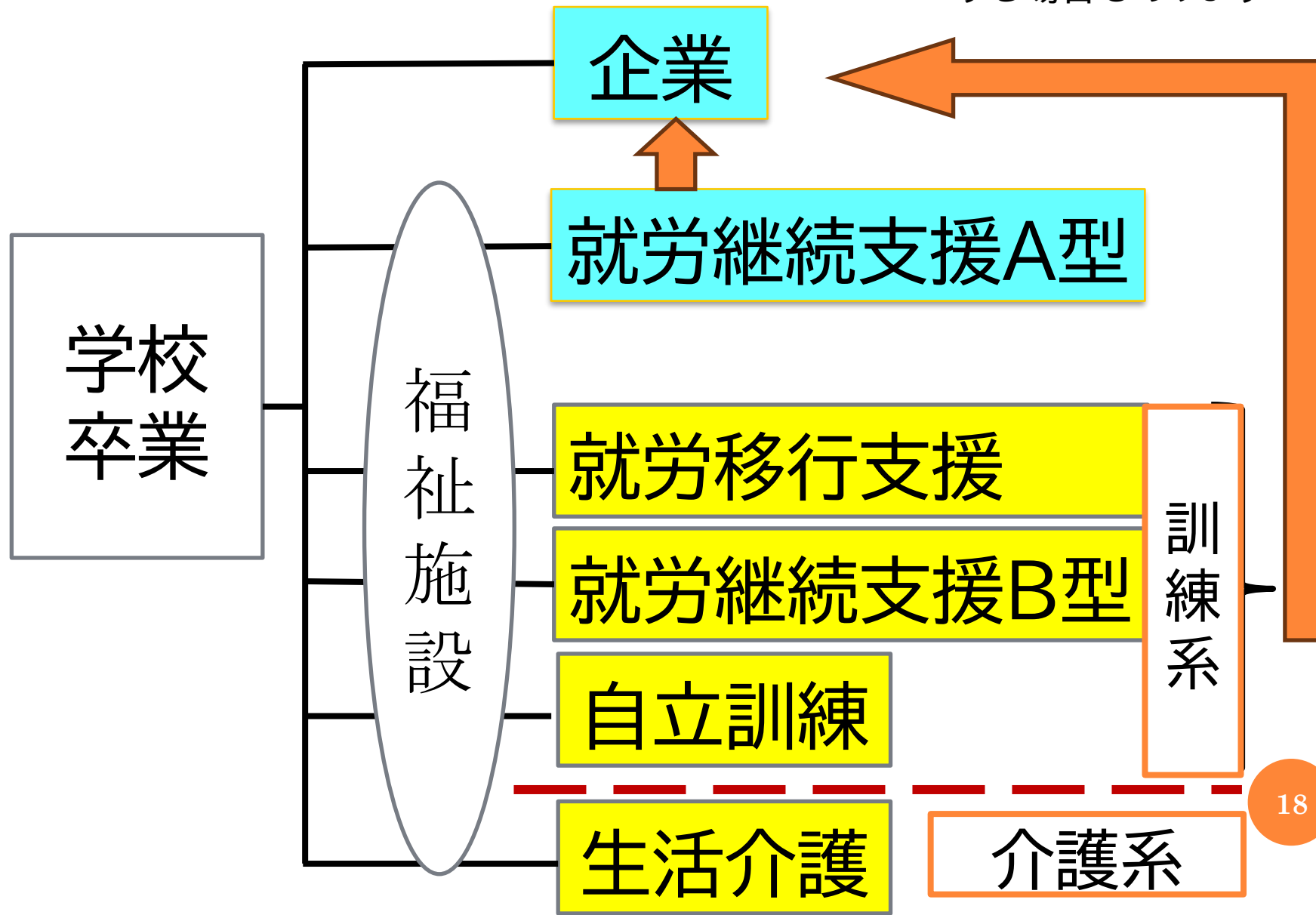
雇用契約を結ぶ
就労
(企業・就労継続支援A型)

福祉施設への
通所
(障害福祉サービスの利用)

- 療育手帳を利用します。

卒業後の進路先

福祉施設を利用して就職
する場合があります



担当者との話の中で

在学中に身に付けてほしいこと

①	元気な挨拶	元気に挨拶で
②	対人関係	他の利用者と仲良くできる 指導員の指示が聞ける 相手を不快にさせない
③	集団行動	自分勝手なことをしない 他の利用者と一緒に行動する

②③に問題がある場合、
利用につながらない可
能性があるので、対応
が必要

家庭で行ってほしいこと

一番重視していることは

通勤(送迎)

仕事内容

今までの
付き合い

サービスの
種類



家庭状況により様々



家庭で行ってほしいこと①

情報を集める(把握する)

- 自分でできることを増やす
 - 家庭でのお手伝いや公共交通機関の利用等
 - 身だしなみを整える（ひげを剃る、爪を切るなど）
- 高等部の学習や実習の様子を知る
 - 見通しをもつことで早めの準備をする
- 障害福祉サービス等を利用した居場所づくり
 - 早い段階から社会とのつながりをもつ

家庭で行ってほしいこと②

家庭内のニーズを明確にしておく

- 仕事内容

→どんな仕事ができるか、合っているか 等

- 通える範囲

→送迎有無 自力通勤 等

- サービスの内容

→希望やニーズ

主な進路関係の行事について

① 校内実習

第1回 6月 9日（月）～ 6月13日（金）

第2回 10月20日（月）～10月24日（金）

第3回 1月19日（月）～ 1月23日（金）

目的

- （1）社会参加に必要な知識、技能、態度を養う。
- （2）達成感や成就感、働く喜び知ること。
- （3）将来に向けて長い時間働くことに慣れる。

主な進路関係の行事について

②職場見学

期日 9月10日（水） 中学部2年生対象

場所 近隣の福祉施設を予定

内容 施設の見学・説明、作業体験、
施設の職員へ質疑

主な進路関係の行事について

③わくわくチャレンジ

対象 3年生全員対象

内容 福祉施設にて1日（午前中）の
体験学習を行う

保護者の皆様にお世話になります

- ・体験学習時の準備
- ・当日の送迎

3年生の保護者の方へ

高等部入試に関して来校いただく機会が増えます。
予定の調整をお願いします。

1 2月上旬 高等部見学会（本校中学部）

1 月 中旬 入学願書説明会

3月 5日（木） 高等部入学者選抜試験

3月 中旬 合格者発表

進路先の決定には、家庭の協力が不可欠です。

お忙しいとは思いますが、何とぞ御協力をお願いします。

御清聴ありがとうございました。

追加の説明

障害福祉サービスについて

就労継続支援A型サービス

- 企業への就労や自立を支援する福祉サービス。
- 雇用契約を結ぶ。利用期限がない。
- 時給制が基本。最低賃金1004円(R6.10月)
- 仕事・コミュニケーションは企業並みの力が求められる。
- 就労機会の提供。勤務時間は4時間～6時間程度。
- 仕事内容は施設内での内職作業や各事業が契約する企業での施設外就労がある。

障害福祉サービスについて

就労移行支援サービス

- 企業就労に対する支援を行うサービス。
- 利用期限 2年間。工賃等なし。
- ビジネスマナーや資格取得など、希望する就職先へつながるよう支援する形と、就労意欲やマナー、様々な企業で実習を行い適性を考える形の2種類に分けられる。
- 2年間の訓練や実習体験によって自身の適性に合った仕事を探したり資格を取得したりすることができる。
- 就職後も一定期間、職場定着のための支援を行う事業所が多い。

障害福祉サービスについて

就労継続支援B型サービス

- 就労に向けた支援や生産活動の機会を提供するサービス。
- 雇用契約、利用期限がない。
- 作業内容は施設ごとに様々、興味関心や特性に応じて選ぶことができる。多く施設が「工賃」として出来高で支払われる。3000円～50000円くらい。
- 基本「1日中作業をする施設」。
- 就労を目的としているため、自力通勤が基本。送迎サービスを行う施設も多い。

障害福祉サービスについて

生活介護

- 日常生活に関する支援が常時必要な方が利用するサービス。
 - ・トイレ、着替え、食事に支援を要する
 - ・多動、パニック、自傷、他害、発作等で見守りなどが必要
- 生産活動(作業など)が中心の施設と健康づくり、生活習慣づくりなど生活支援が中心の施設がある。工賃が出るところもある。
- 多くの施設で、送迎サービスがある。
- 施設の利用は、併用が増えている。